

## 第126回 「ふくしま復興支援フォーラム」

日時 2018年4月12日(木) 18時30分～20時30分

テーマ 「トリチウム汚染水問題

～ 住民目線から海洋放出案と水蒸気放出案の是非を問う ～

報告者 野中 俊吉 氏 (コープふくしま専務理事

(経産省 汚染水処理対策委員会 トリチウム水タスクフォース委員))

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」大活動室1

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18)

\*入場無料、予約不要

【よびかけ人】 片岡正彦・今野順夫・齋藤紀・鈴木浩・中井勝己・真木實彦・渡邊純

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html> )

(ブログ [http://blog.livedoor.jp/tkonno\\_2012/](http://blog.livedoor.jp/tkonno_2012/))

(連絡先: [tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com) / 今野)

~~~~~  
【「ふくしま復興支援フォーラム」開催のよびかけ文】 (2011. 11. 17)

3月11日の東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の「過酷事故(シヴィア・アクシデント)」はその後の福島の様相を一変させました。

福島の人々の健康と福島の大地を蝕み続けている放射能汚染の問題に対して、県民は絶えず事後的でしかも不確かな情報に翻弄され、混乱の度を深めながらこれまでの8ヶ月を経過して来ましたが、なお事態の収束に程遠いのが現状であります。

そのような状況の中でも、福島は今、放射能を恐れながら県民の健康と汚染されたふるさとの大地を取り戻すという、果てしなく続く困難でかつ重たい課題を背負いながら、一步一步前に進まざるをえない局面に立たされております。

課題は多面にわたり、かつ錯綜しておりながら、しかも、それらの解決無しには復興に向けての歩を進めることすら困難な状況に直面しております。

将来の復興を見通しながら、当面するこの困難な課題に対して、幅広い観点から自由な意見を交換しあい、一つ一つ問題を解きほぐし、一致点を模索していく必要性がますます強まっているように思われます。十分な仕組みを作ってからとも考えましたが、むしろ走りながら態勢の充実も図って行こうと決断した次第です。

~~~~~